



出野徹之(いでの てつゆき)

大阪府文化振興財団常務理事兼事務局長  
1943年岡山県生まれ。67年関西テレビ放送に入社。アナウンサーとして活躍後、シンガポール支局長、国際部長などを歴任。2002年4月から同財団。

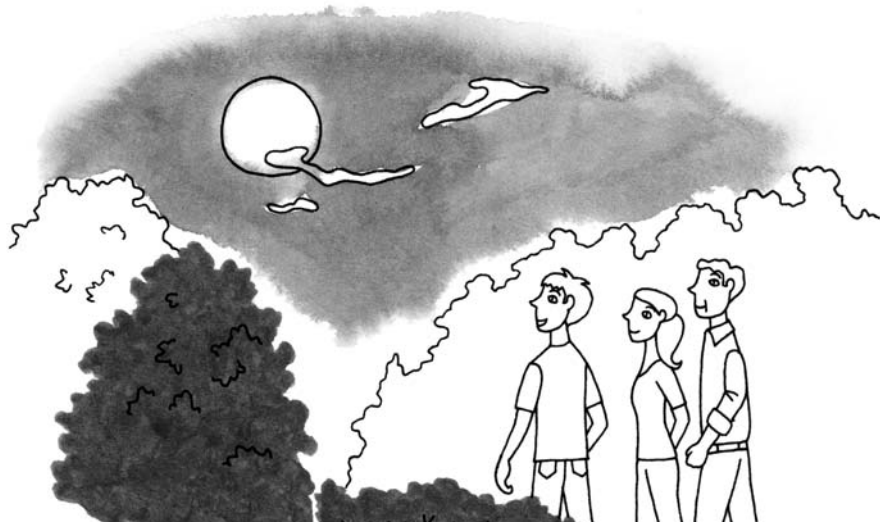
# ”緑地“で締めくくり

出野 徹之

関西テレビにアナウンサーとして入社したのは昭和42年(1967)4月。阪急曾根駅から7〜8分、服部緑地の西にある曾根東町のアパートでサラリーマン生活がスタートしました。ここに3年ほど住み、休みの日は曾根駅の近くに当時あった、洒落た山小屋風の喫茶店に入り浸っていました。屋敷の一隅に作ったような店舗で、ご主人と三姉妹が切り盛りしていて、素人っぽい雰囲気は良く、まだ学生気分が抜けない私を含めて若いサラリーマンなど常連が何人もいました。

秋の一夜、常連客とご主人、それにお嬢さんたちの総勢20人近くいたでしょうか、教授と学生みたいな雰囲気です。服部緑地へ月見に繰り出しました。ご主人が一升瓶を提げ、皆でぞろぞろと緑地へ向かう光景を今でも憶えています。山小屋風ではなくなりましたが、その喫茶店は今でも健在。服部緑地の西のまち曾根にはそんな青春の思い出があります。

それから30数年、服部緑地の中で勤めるとは思ってもみませんでした。平成14年



4月、府が平成元年に設立した「大阪センチュリー交響楽団」の運営・営業・PRを担当することになったのです。この年から、服部緑地の中にあるオーケストラハウスが私の本拠地になりました。

センチュリーは55人編成で、年間10回の定期演奏会をはじめ、お客様のご注文で演奏をする依頼公演など、年間90回ほどのコンサートを行っています。また、オーケストラハウスを使った、子どもたちのための演奏会「タッチ・オーケストラ」、養護学校でのコンサートや府立病院でのミニコンサートなど、府民貢献事業は私どもの事業の大きな柱です。

さらに豊中市民をはじめ、府民の皆さんにはお馴染みの「星空ファミリーコンサート」を、毎年8月最後の土曜・日曜日に、隣接する野外音楽堂を使って無料で開催。文字通り家族連れで楽しんでいただいています。

豊中の地で、大阪センチュリー交響楽団のメンバーが、今日も人びとに心の滋養をお届けする音楽を紡ぎだしていることを、どうぞお見知りおきください。

▶奇数月は「いんたびゅう」、偶数月は「リレーエッセー」を掲載しています